

輸出事業計画

※申請者名：株式会社 奈良、品目：養殖ブリ

1. 輸出における現状と課題

【米国】

現在は日本の商社を通じて販売を行っている。販売先はアジア系食品マーケット（レストラン）が中心であるが、これから現地系ハイクラスマーケットに販売するにあたり、より高度な衛生管理を求められるようになっている。

また、レストラン以外への販売促進のため、現地ニーズに合った商品作りが課題である。

【アジア】

日本食の人気（安全性・高品質）が高まっており、将来的に有望な輸出先であるが、下記3点が課題となっている。

- 1, 物流経路。（確実なコールドチェーンの確保）
- 2, 商品代の確実な回収方法。
- 3, 商品の認知度。

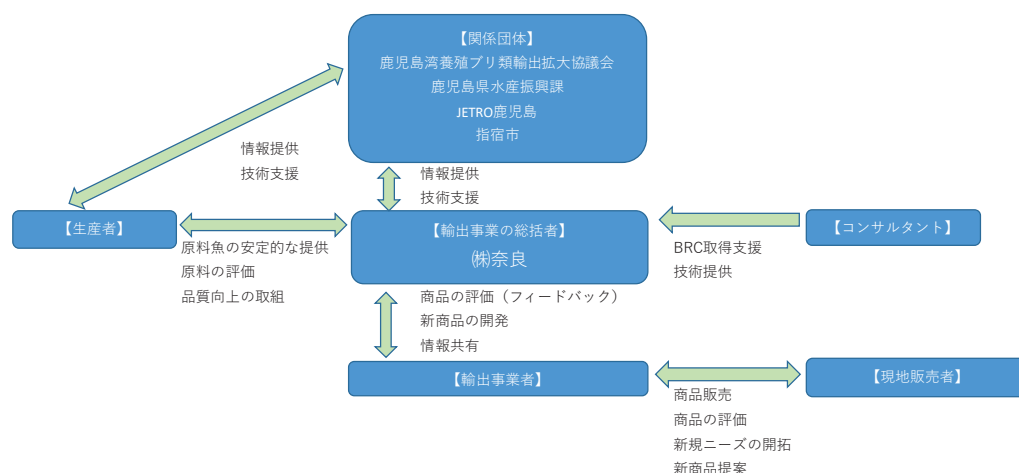
【各国共通】

現在は市内在住の日本人及び技能実習生で生産を行っているが、弊社の生産工程において、一定の専門性・技能を有した人材の確保が必要である。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 1, 工場建設・加工機器の導入
 - (ア) 高度な衛生管理
 - (イ) 加工度の高い製品作り
- 2, 新商品開発
 - (ア) 既存顧客と検討・開発
- 3, 工場管理
 - (ア) 顧客の要求する上位の衛生管理手法の導入
- 4, 新規顧客の開拓
 - (ア) 物流や決済方法など含め、米国以外の新規顧客の検討
- 5, 社員寮の建設
 - (ア) 技能実習を終了後、特定技能に移行した技能実習生も自社の社員寮で受け入れる。
 - (イ) 多様な国からの技能実習生を受け入れるため、食文化や生活習慣の違いを受け入れ、少人数での生活ができるよう部屋を個別に設ける。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

※申請者名：株式会社 奈良、品目：養殖ブリ

4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

		現状 (2020年9月～2021年8月)	目標年 (2026年9月～2027年8月)	備考
鹿児島地区	輸出額(千円)	1,268,927	2,155,150	
	輸出量 (t)	884	1,371	
	輸出先国	米国、台湾	米国、台湾、韓国、中国、タイ	
	取扱量 (t)	955	1,400	